

2008年3月期 報告書

2007年4月1日～2008年3月31日



<http://www.sra-hd.co.jp/>

本社：〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-32-8 TEL:03-5979-2666

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株式数 100株
公告方法 電子公告により、当社ホームページ (<http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/>) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。
また、株券を喪失された場合の手続は「株券失効制度」により簡便となりました。詳細については株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-232-711で平日9時から17時までにご照会ください。
- 振込口座をご指定されておられない株主さまには従来、「郵便振替支払通知書」にて配当金をお受取りいただいておりますが、2007年10月1日に日本郵政公社が民営化されたことに伴い、「郵便振替支払通知書」に代わって「配当金領収証」にて配当金をお受取りいただくこととなりました。(従前のとおり、もよりのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口にて配当金をお受取りいただくことができます。)
- 株券電子化について
上場会社の株券が2009年1月(実施で準備中)に一斉に電子化されます。株券の電子化に関する情報につきましては、日本証券業協会証券決済制度改革推進センター (<http://www.kessaicenter.com/>) にご確認ください。



株式会社SRAホールディングス

証券コード:3817

SRAグループは、事業の優位性を活かし ビジネスの発展・拡大をめざします。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
2008年3月期の業績についてご報告させていただきます。

【2008年3月期連結業績実績】

	2008年3月期	前年度比	
売上高	450億58百万円	+82億93百万円	22.6%UP
経常利益	41億81百万円	+12億57百万円	43.0%UP
当期純利益	22億24百万円	+2億8百万円	10.4%UP

前年度と比較し大幅な増収増益となりました。
当年度は、中期経営計画(2006年3月期～2008年3月期)の最終年度でしたが、当初計画の目標である売上高400億円、経常利益32億円を大幅に上回ることができました。

売上高増加理由

・中核事業会社SRAのシステム開発の売上高が製造、流通、金融向けで増加、主要子会社AITの機器販売が金融機関向け大型案件もあって好調に推移、その他子会社も総じて好調に推移したこと等によるものです。

利益増加理由

・売上増に伴う粗利益額の増加、生産性の向上および販管費抑制の継続等によるものです。

【2009年3月期連結業績予想】

	2009年3月期予想	前年同期比	
売上高	460億円	+9億41百万円	2.1%UP
経常利益	44億円	+2億18百万円	5.2%UP
当期純利益	23億円	+75百万円	3.4%UP

売上高460億円は対前年度比で2.1%の増加となりますが、前年度の売上高から金融機関向け機器販売の大型案件28億59百万円を除くと421億99百万円となり、これと比較すると9.0%の増加となります。

当年度の配当については、連結配当性向20%という配当方針に基づき、好調な連結業績を勘案して1株当たり普通配当30円にSRAグループ創立40周年記念配当10円を加え合計40円としました。
来年度の配当につきましては記念配当10円を普通配当に組み入れて40円を予定しております。

また、昨年度より株主優待制度を導入しております。

【新中期経営計画の達成に向けて】

先の「中期経営計画」は、お陰様を持ちまして、売上高、利益共に当初計画を大きく上回る実績をあげることができました。

今後3年間の「中期経営計画」(概要はP3～P4参照)においてもその勢いを保ちながら、「独立系」企業の優位性を活かし、さらなるビジネスの拡充に努めます。また、いかなる経営環境においても事業優位性に裏付けられた「持続的発展・拡大」を可能とすべく、事業戦略ならびに体制の強化を図ってまいります。

併せて、中期経営計画以降も見据え、新たなビジネス展開への布石も打ってまいります。

この計画を着実に実行することにより、株主の皆様ならびにお客様のご期待にお応えできる企業グループをめざしてまいります。

2008年6月

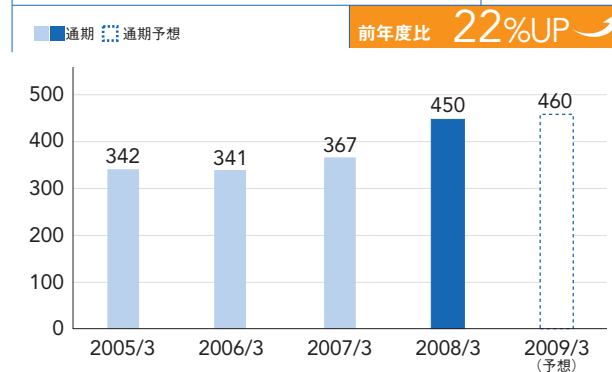
代表取締役社長

鹿島 亨



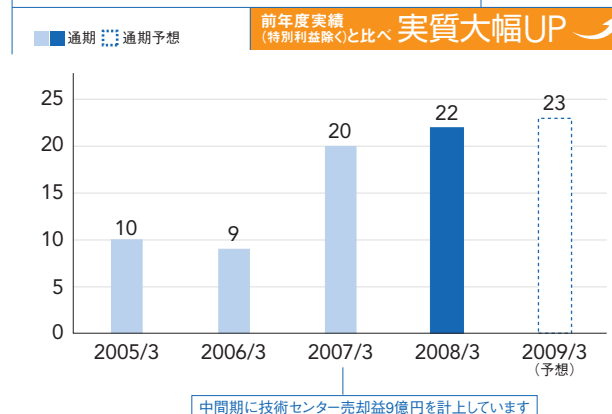
売上高

(単位：億円)



当期純利益

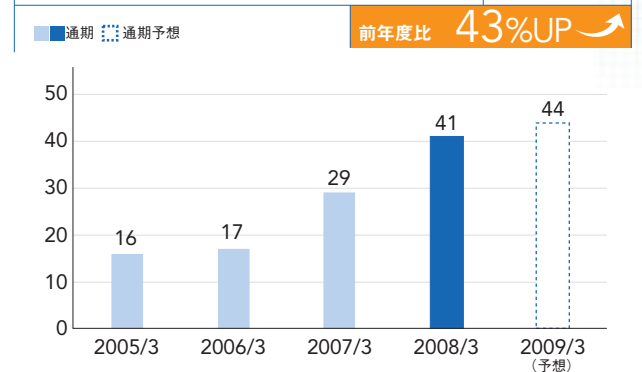
(単位：億円)



(注)1. 2009年3月期予想は、2008年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当は当該予想と異なる結果となる可能性があります。
(注)2. 2007年3月期以前は株式会社SRAの連結実績。

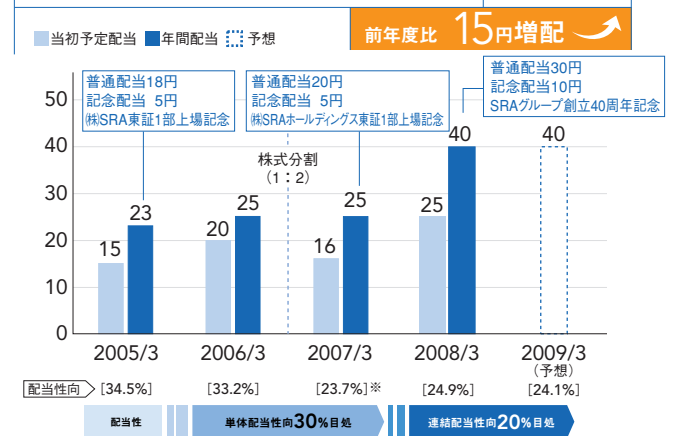
経常利益

(単位：億円)



1株当たり配当金

(単位：円)



*一過性の要因である技術センター売却益を除いて算出。

株主優待制度のご案内

- 優待内容** 株主のみなさまの日頃からのご支援に対し感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
贈呈の基準 株式保有数 100株以上→3枚
- 対象株主** 毎年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の方を対象といたします。
- 贈呈期間** 毎年12月中旬頃に発送を予定しております。



中期経営計画の概要

2008年度から2010年度の3ヶ年の新たな中期経営計画を策定しました。創業半世紀への展望を図り、株主のみなさまに継続的な「企業価値の向上」を実感していただくために「持続的な事業の発展・拡大」をめざします。中期経営計画では、収益性向上(粗利益率の向上)に努めてまいります。

独立系企業としてのポジション確立

- **プライムコントラクター(一次請け)としての企業規模確保**
 - ⇒ グループ総売上高 1,000億円(含M&A)
 - ⇒ グループ経常利益 100億円(含M&A)
- **企業競争力強化に向けた経営体質の向上**
 - ⇒ 重要経営指標(売上高成長率、粗利益率、販管費比率、経常利益率)の着実な向上

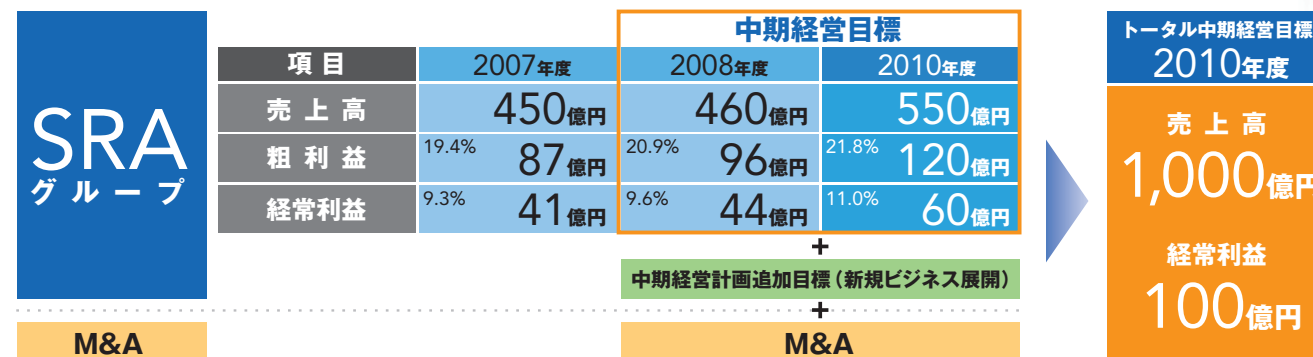
持続的発展に向けた事業戦略・体制の強化

- 「**事業セグメント**」再構築による事業戦略の強化
 - ⇒ 中期経営計画達成に向けた実現策の構築
- **ホールディングス体制の本格始動**
 - ⇒ グループシナジーの具体化による事業体制の強化

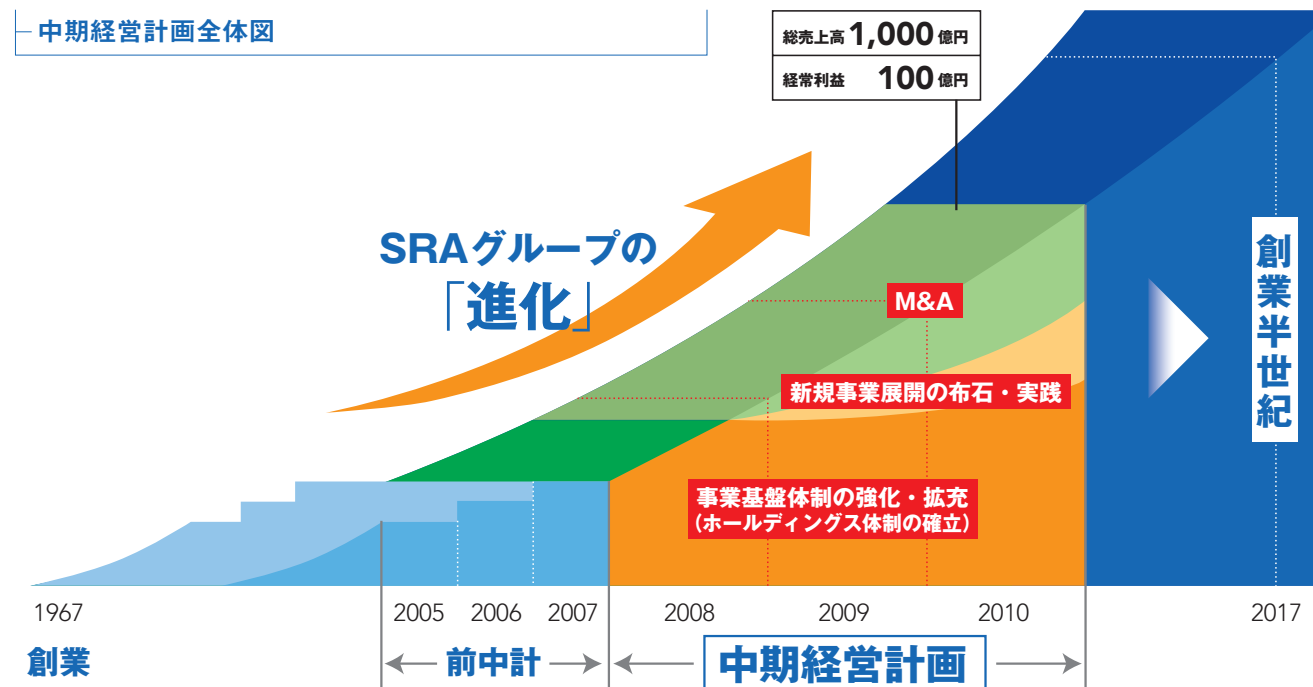
中長期的SRAグループ事業力進化への布石

- **中期経営計画以降も見据えた事業発展・展開への布石**
 - ⇒ 「製品ビジネス」への取組みによる事業ポートフォリオの強化
 - ⇒ 「先進技術のビジネスモデル化」によるSRAの強みの具体化
 - ⇒ 欧米ビジネスの拡充、アジアビジネスへの布石等による海外ビジネス収益機会の拡大

トータル中期経営目標全体図

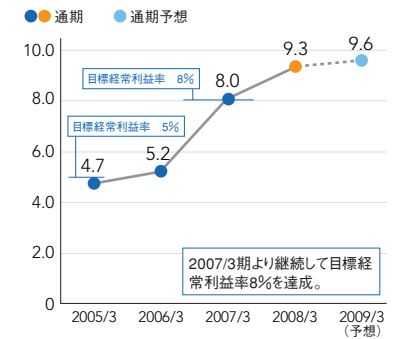


中期経営計画全体図

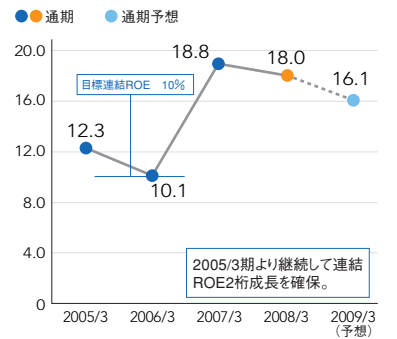


2008年3月期指標

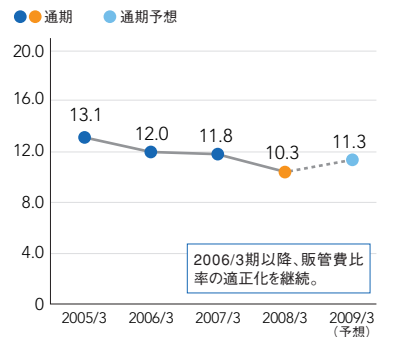
連結売上高経常利益率 (単位:%)



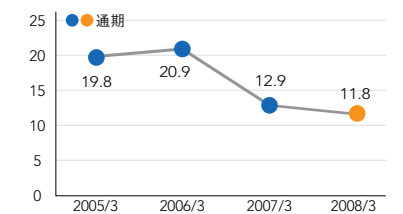
連結自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



連結販管費比率 (単位:%)

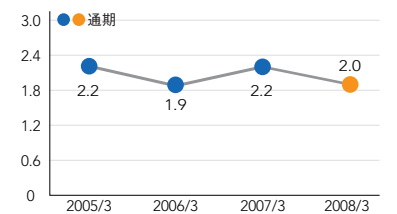


PER (株価収益率) (単位:倍)



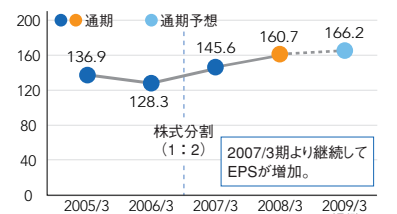
PER=各期末当社東証終値÷1株当たり当期純利益

PBR (株価純資産倍率) (単位:倍)



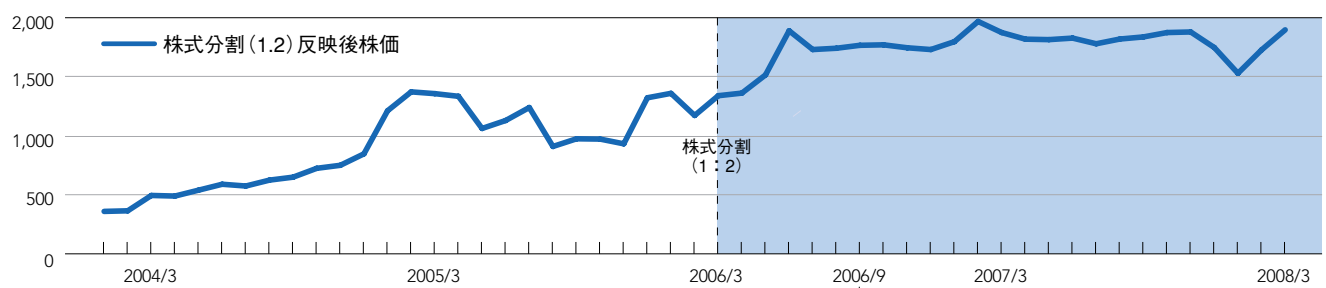
PBR=各期末当社東証終値÷1株当たり期末純資産

EPS (1株当たり当期純利益) (単位:円)



EPS=当期純利益÷発行済株式数(期中期末平均)

株価チャート (単位:円)



株式会社SRA ◀ ▶ 株式会社SRAホールディングス

どこのメーカー／ユーザーにも属さない「独立系」だから・・・
お客さまにとって最適な選択肢を提供できる!

SRAグループのソフトウェア業界における位置づけ



ハードウェアでもソフトウェアでも、特定のユーザーやメーカーに偏ることなく、中立な立場で真に最適な選択肢を提供することによりお客様にご満足いただけるサービスを提供します。これは、お客様にとっての最大のメリットであり、私たちSRAグループの存在価値であると考えています。

SRAグループの3つの強み

SRAグループは3つの強みを活かして中期経営計画の達成をめざしてまいります

3つの強みを活かしてITに求められる「スピード」、「クオリティ」、「コスト」を満たすシステムを提供し、お客様の競争力強化、成長および収益の向上に貢献するよう努めることで、中期経営計画を達成し、株主のみならずご期待に応えます。



1. 技術先進性

創業以来、「技術のSRA」としての定評があります。最近では、注目度の高いオープン・ソース・ソフトウェア、SOAにおいても技術優位性を確立しています。先進技術を活かした新しいビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。

2. グローバル・リーチ

業界に先駆けて海外拠点を設け、アメリカ、ヨーロッパ、インド、シンガポール、中国等の海外ネットワークにより、日系グローバル企業・現地企業のお客様に対して、高付加価値のグローバルサポートサービスを提供しています。また、収益性の向上を目的に、1995年という早い時期からインドを開発拠点として活用しています。

3. 優良顧客基盤

金融、製造、流通等の各業界のリーディングカンパニーを始めとする大企業、中堅企業をお客様とし、継続的・安定的なビジネスを展開しています。また、IT技術を駆使している新規の優良なお客様に対しても、案件マネジメント強化と顧客セグメント別マーケティングを実施し、ビジネスを拡大しています。

システムライフサイクル

SRAグループは、コンサルティングからシステム開発、インフラ構築、運用・保守に至るITシステムのライフサイクル全般をビジネスチャンスととらえ、強みである「技術先進性」と各業界における「豊富な業務ノウハウ」を活かし、高水準のサービス・製品を提供しています。

コンサルティング

システム分析、業務分析、アプライザル手法(SCAMPISM)を活用したプロセス改善コンサルティング、ソフトウェア製品導入コンサルティング等の実施により、大企業・中堅企業が抱える問題を解決し、経営の効率化を強力にサポートします。

システム開発

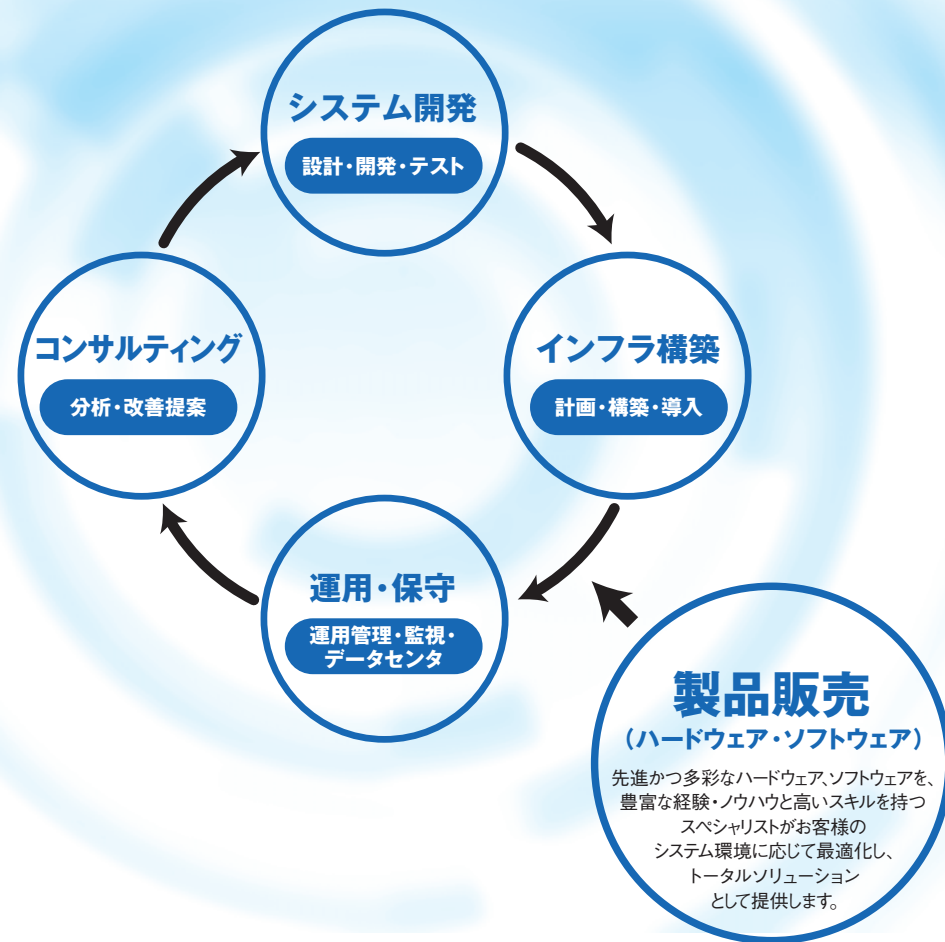
SRA創業以来の強みである先進技術力と各業界のリーディングカンパニーとの長年にわたるビジネスで培った業務知識、ノウハウをベースに、システム設計から開発、テストに至るまで高品質のサービスを提供します。

インフラ構築

基幹インフラからハードウェア、OS、ミドルウェア、ソフトウェア選定、ネットワーク構築に至るまで、インフラ構築における高い技術力と経験を活かし、最適なシステムを提案し、安定稼働を支える強固な基盤を構築します。

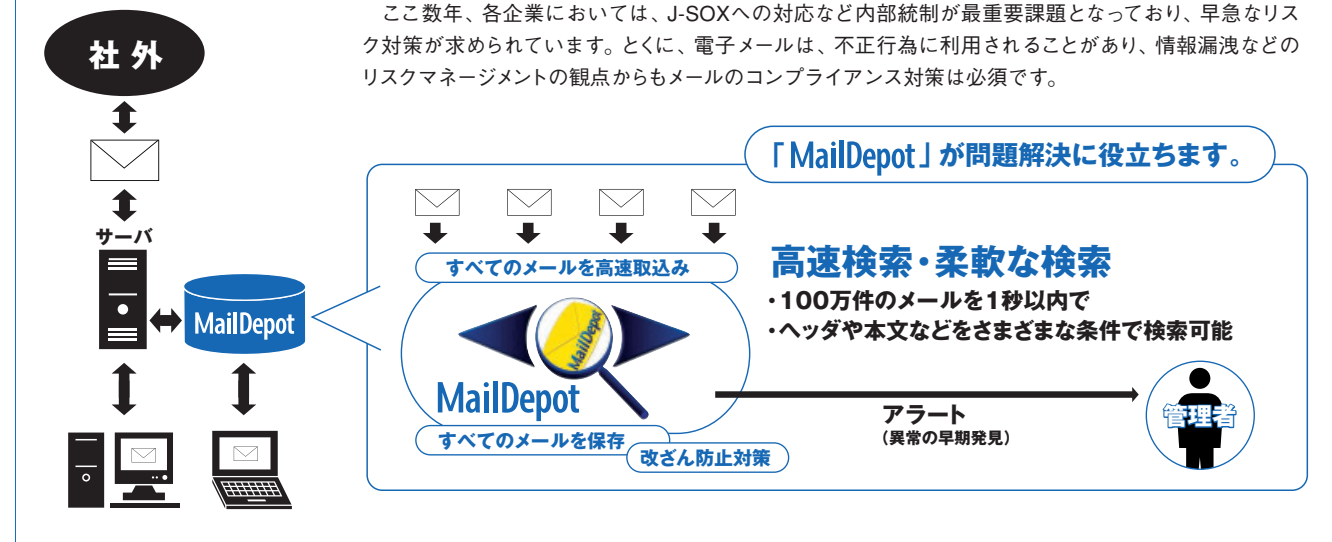
運用・保守

「ベストプラクティス」を集めたフレームワーク「ITIL」のノウハウと30余年にわたる企業・大学における実績と経験を活かし、運用管理からハウジング、リモート監視までお客様の大切なシステム環境を守ります。



高速検索・大容量対応を可能にした メールアーカイブ製品「MailDepot」※を発売

ここ数年、各企業においては、J-SOXへの対応など内部統制が最重要課題となっており、早急なリスク対策が求められています。とくに、電子メールは、不正行為に利用されることがあり、情報漏洩などのリスクマネージメントの観点からもメールのコンプライアンス対策は必須です。

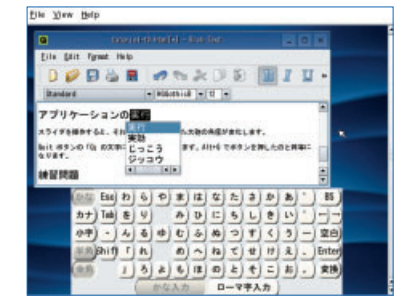


C++GUIツールキット「Qt」関連ソリューションを開発

— 組込開発等におけるアプリケーション構築の効率化を実現! —

「Qt」は、GoogleEarthやシャープPDA端末ザウルス等、世界60ヶ国/5,000社以上の導入実績を誇る開発ツールです。SRAは、2003年からライセンス販売、関連ビジネスを推進してきましたが、さらにビジネスを加速させる為、組込開発等におけるアプリケーション開発の効率化を実現する3製品を新たに開発し、2008年6月から順次発売します。《Qinput》と《Qtouch》を使って、複合機(コピー機等)のタッチパネルやカラオケの選曲用端末、PDA等の組込み機器にて、ソフトウェアキーボードからの日本語入力が可能となります。

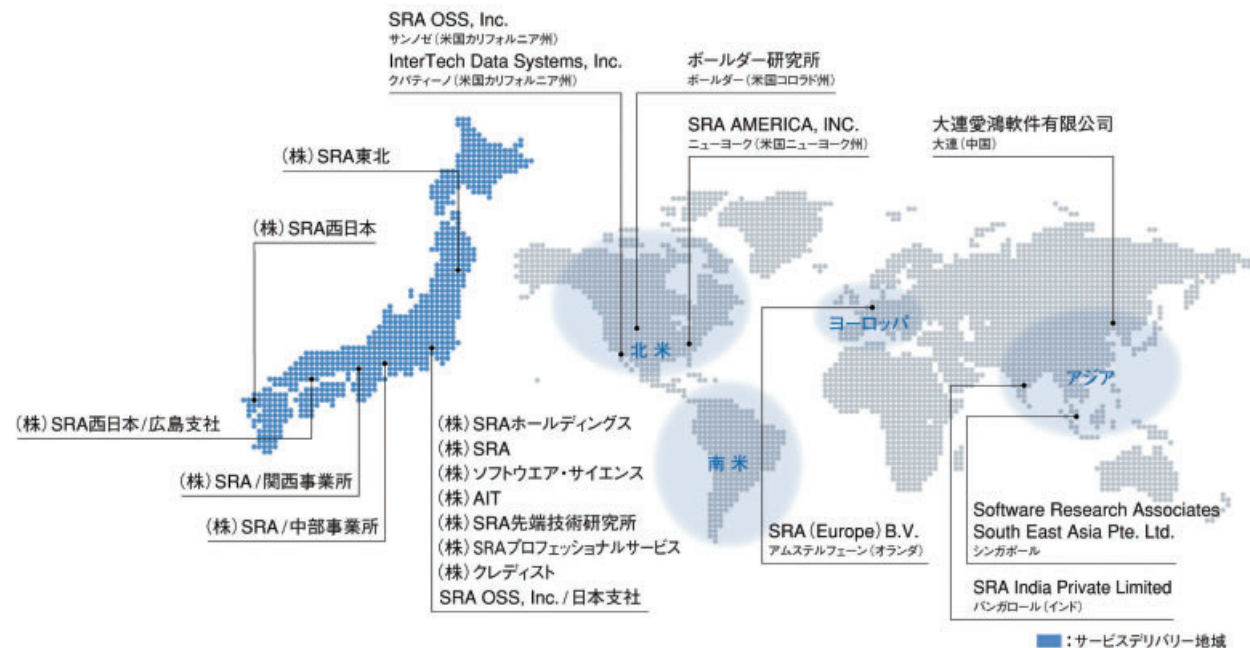
- 1 組込システム特有の制限を解消し効率的な入力環境構築を可能とする
「日本語入力モジュール」《Qinput》※
- 2 組込デバイスにおける文字入力インターフェイスを容易に構築可能とする
「ソフトウェアキーボード」《Qtouch》※
- 3 「Qt」利用の大規模アプリケーション開発をより容易に、効率的に行う
「Qt画面開発フレームワーク」



日本語入力モジュールとソフトウェアキーボードのプロトタイプ画面イメージ

* 記載されている会社名・商品名は一般的には商標または登録商標です。
※ 商標登録出願中

SRAグループは国内・海外のネットワークを活用し グループシナジーのさらなる強化を図ります



海外の主要な関連会社の概要

SRA AMERICA, INC.

システムコンサルティングを事業の柱に、システム開発・導入、運用管理、ヘルプデスクサービスを日系企業、米国企業に提供しています。高品質・高信頼性のグローバルサポートサービスを豊富なシステム実装経験をベースに実践しています。

SRA (Europe) B.V.

ITインフラ構築、ホスティング、システム開発、運用管理、モニタリング、コンサルティング等、さまざまなITソリューションを提供しており、ヨーロッパにおける日系企業の業務展開をサポートしています。

SRA OSS, Inc.

PostgresやLinuxといったオープンソースソフトウェア(OSS)の先駆者として長年取り組んできた経験をもとに、OSSに関わるサービスの提供にとどまらず、OSSコミュニティへの支援を行うことでOSSのリーディング企業をめざします。

SRA India Private Limited

SRAのグローバル戦略の柱として、2002年10月にインド・バンガロールにSRAのオフショア開発センターとして設立。豊富な人材、低価格、高品質のメリットを活かし、SRAの競争力を強化すると共に、お客様への還元を図っています。

Software Research Associates South East Asia Pte.Ltd.

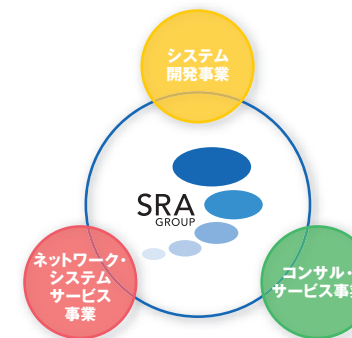
アジアマーケットに対するSRAグループの戦略的拠点と位置づけ[SRAのグローバルソーシング]戦略の一翼を担います。同時に日本国内企業への高品質ソフトウェア提供をめざしアジアオフショア開発中継拠点としての機能も果たします。

大連愛鴻軟件有限公司

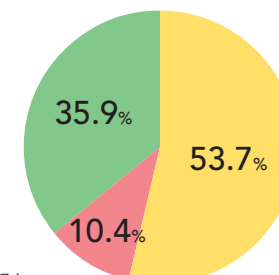
「SRAのグローバルソーシング」戦略の一翼を担い、優秀な人材の採用、教育を行い、オンサイトビジネスの上流工程を担う技術者の育成とサービスの提供に取り組んでいます。

SRAグループは、3つのセグメントで、 高付加価値サービスを提供いたします。

- システム開発事業
- ネットワーク・システムサービス事業
- コンサル・サービス事業



売上高構成比



2008年3月31日現在

事業セグメント別業績の推移 (単位: 百万円)

事業セグメント	項目	2007年3月期	2008年3月期
		前期末	当期
システム開発事業	売上高	21,701	24,205
	営業利益	3,382	4,111
ネットワーク・システムサービス事業	売上高	4,392	4,664
	営業利益	884	1,128
コンサル・サービス事業	売上高	10,672	16,189
	営業利益	1,210	1,293

(注) 営業利益は、セグメント間の内部取引を含んでおり、配賦不能な営業費用を含んでおりません。

国内の主要な関連会社の概要

株式会社SRA

SRAグループの中核会社として、創業以来40年「技術のSRA」として常に業界をリード。独立系情報サービス企業として、中立的立場で最適な選択肢を各業界リーディングカンパニーを始めとする大企業、中堅企業に提供しています。

株式会社AIT

コンサルティング・開発・導入・保守・運用までをシームレスに提供。最新IBM製品群を中核とした情報システム、ワークフローとの連携により内部統制を実現する電子帳票システム、帳票出力領域統合運用基盤等でお客様を強力に支援します。

株式会社ソフトウェア・サイエンス

ソフトウェア・サイエンス独自の柔軟性と高い技術力を活かし、コンサルティングサービス、ITソリューションサービス、ソフトウェア開発サービスからネットワーク構築支援サービスまで最適で高品質なシステムを提供します。

株式会社SRA西日本

◎半導体関連 ◎自動車関連 ◎組込ソフトウェア の3つの領域を得意分野とし、企業のシステム構築を提案しています。また、いち早く、社内に蓄積した「コア資産」を利用したソフトウェアプロダクトライン型開発を推進しています。

株式会社SRA東北

◎電力 ◎文教 ◎地銀 の3分野を柱とし、設立当初より地域密着のサービスを提供しています。オープン系システムやネットワーク構築に関する確かな技術力と先見性、そして豊富な経験とノウハウは、お客様から高い評価を得ています。

株式会社クレディスト

ソフトウェアのASP(時間貸)・販売代行、ソフトウェア動的資産管理(ソフト種別/使用者/開始・終了/目的/作業フェーズ等の使用状況を記録、分析)、ネットワーク・ライセンス管理のサポートおよび関連ソフトウェアの開発・販売を行っています。

株式会社SRA先端技術研究所

SRAグループの研究開発会社としてSPI/SPA関連運動向調査、オブジェクト指向技術の適用評価、汎用クラスライブラリー「じゅん&じゅん for Java」の拡張と化学情報学・マルチメディア関連技術への応用等に関する研究を行っています。

株式会社SRAプロフェッショナルサービス

SRAグループのビジネスサポート会社として、シェアードサービスとパーソナルサービスを展開しています。パーソナルサービスにおいては、人材紹介、人材派遣および教育研修のコンサルティングと運用サービスを提供しています。

Financial Data

連結財務諸表

株式会社SRAホールディングス（連結）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (平成19年3月31日現在)	当期末 (平成20年3月31日現在)	科目	前期末 (平成19年3月31日現在)	当期末 (平成20年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	8,306	9,351	買掛金	3,041	3,502
受取手形及び売掛金	7,790	8,940	短期借入金	2,446	2,576
有価証券	1,999	2,003	一年内償還予定社債	—	300
たな卸資産	846	1,740	未払法人税等	615	1,640
繰延税金資産	383	471	未払消費税等	362	392
その他	689	657	未払費用	1,169	963
貸倒引当金	△ 5	△ 22	賞与引当金	679	653
流動資産合計	20,010	23,143	役員賞与引当金	54	74
固定資産			その他	737	798
有形固定資産			流動負債合計	9,106	10,901
建物	95	103	固定負債		
機械装置及び運搬具	106	91	社債	300	—
土地	0	0	長期借入金	32	10
その他	33	32	退職給付引当金	3,149	3,412
有形固定資産合計	237	228	役員退職慰労引当金	375	400
無形固定資産			負ののれん	25	19
ソフトウェア	568	376	固定負債合計	3,882	3,842
その他	31	64	負債合計	12,989	14,743
無形固定資産合計	600	440	純資産の部		
投資その他の資産			株主資本	10,776	12,654
投資有価証券	1,919	1,510	資本金	1,000	1,000
繰延税金資産	998	1,318	資本剰余金	4,519	4,519
差入保証金	556	553	利益剰余金	6,151	8,029
長期性預金	—	400	自己株式	△ 894	△ 894
その他	357	489	評価・換算差額等	834	495
貸倒引当金	△ 8	△ 10	その他有価証券評価差額金	796	480
投資損失引当金	△ 50	△ 107	為替換算調整勘定	37	15
投資その他の資産合計	3,774	4,155	新株予約権	9	52
固定資産合計	4,611	4,824	少数株主持分	11	21
資産合計	24,622	27,967	純資産合計	11,632	13,224
			負債・純資産合計	24,622	27,967

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	36,765	45,058
売上原価	29,592	36,311
売上総利益	7,173	8,747
販売費及び一般管理費	4,324	4,645
営業利益	2,848	4,102
営業外収益	151	154
営業外費用	75	75
経常利益	2,923	4,181
特別利益	987	21
特別損失	295	63
税金等調整前当期純利益	3,615	4,139
法人税、住民税及び事業税	936	2,123
法人税等調整額	630	△ 217
少数株主利益	31	9
当期純利益	2,015	2,224

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,846	2,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,665	△ 434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 219	△ 238
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	4,301	1,346
現金及び現金同等物の期首残高	5,617	9,919
現金及び現金同等物の 期末残高	9,919	11,265

連結株主資本等変動計算書

当期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	1,000	4,519	6,151	△ 894	10,776	796	37	834	9	11	11,632
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 345		△ 345			—			△ 345
当期純利益			2,224		2,224			—			2,224
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）					—	△ 316	△ 22	△ 338	42	9	△ 287
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,878	—	1,878	△ 316	△ 22	△ 338	42	9	1,591
平成20年3月31日残高	1,000	4,519	8,029	△ 894	12,654	480	15	495	52	21	13,224

株式会社SRA（個別）

貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前期末 (平成19年3月31日現在)	当期末 (平成20年3月31日現在)
資産の部	21,671	22,921
流動資産	16,545	17,926
現金及び預金	6,110	6,576
受取手形及び売掛金	4,703	5,886
有価証券	1,999	2,003
関係会社株式	2,625	2,657
たな卸資産	513	451
その他	593	369
貸倒引当金	△ 0	△ 19
固定資産	5,125	4,994
有形固定資産	161	151
無形固定資産	386	260
投資その他の資産	4,577	4,583
投資有価証券	1,763	1,336
関係会社株式	1,301	1,226
その他	1,661	2,171
貸倒引当金	△ 8	△ 10
投資損失引当金	△ 140	△ 140
資産合計	21,671	22,921
負債の部	10,010	10,712
流動負債	6,739	7,237
買掛金	1,614	2,093
短期借入金	1,770	1,770
その他	3,355	3,373
固定負債	3,270	3,475
長期借入金	26	10
退職給付引当金	2,878	3,077
役員退職慰労引当金	365	387
純資産の部	11,660	12,208
株主資本	9,830	10,693
資本金	2,640	2,640
資本剰余金	2,881	2,881
利益剰余金	4,309	5,172
評価・換算差額等	1,829	1,515
その他有価証券評価差額金	1,829	1,515
負債・純資産合計	21,671	22,921

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前期 (平成19年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	22,759	25,711
売上原価	18,110	20,010
売上総利益	4,649	5,700
販売費及び一般管理費	2,725	2,751
営業利益	1,923	2,949
営業外収益	168	276
営業外費用	133	35
経常利益	1,958	3,190
特別利益	988	7
特別損失	168	80
税引前当期純利益	2,778	3,118
法人税、住民税及び事業税	505	1,427
法人税等調整額	658	△ 193
当期純利益	1,614	1,884

※本報告書における将来見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

株式の状況

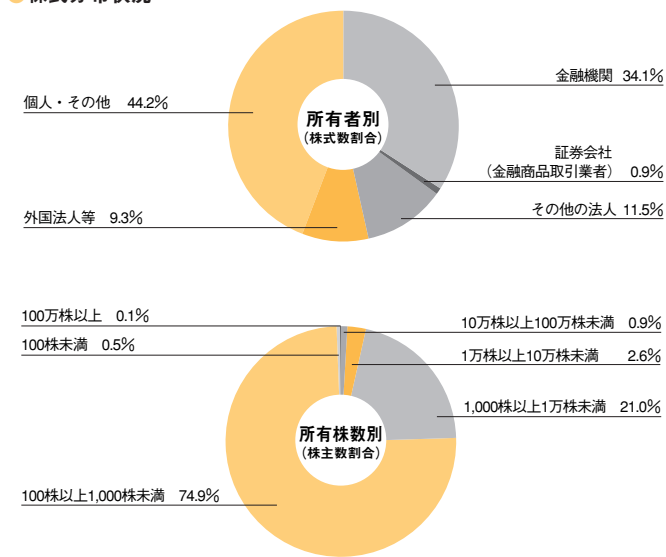
（平成20年3月31日現在）

- 発行可能株式総数 60,960,000株
- 発行済株式総数 15,240,000株
- 株主数 2,889名

●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森隆吾	2,189	14.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,648	10.8
株式会社SRA	1,400	9.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	613	4.0
SRAホールディングス社員持株会	577	3.7
第一生命保険相互会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6

●株式分布状況



会社概要

（平成20年3月31日現在）

商号 株式会社S R Aホールディングス
SRA Holdings, Inc.
本店所在地 東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日 平成3年1月28日
資本金 10億円
主要な事業内容 システム開発事業、ネットワーク・システム
サービス事業およびコンサル・サービス事
業を営む事業会社の統括管理
従業員数 1,694名（連結）

役員

（平成20年6月26日現在）

代表取締役会長 丸 森 隆 吾
代表取締役社長 鹿 島 亨
常務取締役 谷 野 寛
常務取締役 富 田 博
常勤監査役 室 伏 仁
常勤監査役 小 川 浩
監査役 櫻 井 通 晴
監査役 竹 谷 智 行
会計監査人 太陽ASG監査法人